

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 2月18日（日）

残された三学期の日々が充実したものとなるように、学習への取り組みを励まし、また、規則正しい生活ができるよう、家族全員で応援しましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

「ママのスマホになりたい」

戸倉上山田地区児童館職員

「ママのスマホになりたい」・・・絵本作家「のぶみ」さんの絵本の題名です。この絵本の中で、男の子がママに話しかけても自分の方を見てくれないので、段ボールでスマホが使えない国をつくりまします。

『ママがスマホばかりみてるから、ぼくはスマホになりたい。ママがテレビばかりみるなら、僕はテレビになりたい。ママがあかちゃんしかみないなら、ぼくは あかちゃんになりたい。でもね、ホントのことという・・・ぼくのまんまで ママにみてほしい。おそうじとか ごはんとか ママが がんばってるのしってるから、さみしいとかいって じゃましたくないけど、ママがみてくれないと、ぼくはいなくてもいいよな きもちになっちゃうよ。だいすきなママがキライになりそうな ぼくがきらいなんだ。』

先日、ある薬局での出来事。2歳くらいのかわいい女の子が、調剤を待つ間持っていたぬいぐるみを使って、かわいい声で母さんに話しかけていました。お母さんはずっとスマホを見たままで、女の子は一人二役して話しかけていました。児童館に遊びに来館するお母さんも、スマホを手放せない方が多いです。

今、スマホを持っているみなさん。ちょ

っとだけ、お休みモードにしてみませんか？手のぬくもりとあたたかい心を感じながら、目を見て話してみましよう。きっと、今までにはなかったかけがえのない素晴らしい時間をすごすことができると思います。



第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！
— おさなごが親から受け継ぐ良きマナー —

～ 1月の定例補導委員会議より～

1月11日に、定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

1. 千曲警察署生活安全課より

「ライポくん安心メール」：12月は4件の不審者情報。昨年1月はなかったが、2月に3件の不審者情報あり。声掛け事案は社会的な影響が大きい。今後も、早いうちに対処していきたい。

2. 補導センター活動状況・声かけ事案の認知状況について

3. 11・12月の補導活動を振り返って：店舗巡回・大頭祭特別巡回・通常の補導巡回を実施

4. 1～3月の補導計画について

○ 通常補導 1月1回、2月2回、3月1回 巡回時間：午後3時～5時

○ 長期休業中（年度末）の補導委員と学校職員・PTA役員との合同補導

3月16日より28日まで（土日祝日を除く）巡回時間：午後3時～5時

5. 一年間の補導活動を振り返って：次年度に生かすためアンケート実施について

6. 第14回人権を守る市民集会について 1月20日（土）実施 更埴文化会館



補導日誌から



400年以上続く祭りのすごさ

12月11日（月） 3:00pm～5:00

大頭祭、2日目。寒波襲来の予報も出てはいたが、幸い穏やかな日となり老若男女が祭りを楽しむ様子は、400年以上も続いてきたこの祭りのすごさを改めて実感しました。以前地方史を読んでいた折、川中島の合戦に武田信玄が戦勝祈願をしたとの一説を思い出しました。誠に歴史に富んだ神社です。今日は大きな問題は感じられませんでした。宝船からまかれた御供に子ども達が殺到するため、御供を取り合ったり年配者と接触したりする光景が見受けられました。中にはレジ袋いっぱい御供をもらい、自慢げに帰る中学生の姿もありました。

大頭祭に浸る子ども達

12月14日（木） 3:00pm～5:00

宝船から御供がまかれると、大人や子ども達が夢中で拾っていました。この日中学生の姿は見られず、小学生はたくさん御供が拾えたようです。宝船の側では、事故が起きないように警備の人たちが見守っていただきました。境内には露店が出ていましたが、子ども達に悪影響を及ぼすような店は見あたりませんでした。伝統ある大頭祭を地区住民（子ども達を含め）が一丸となって盛り上げていくことは、伝統文化の継承や地区の結びつきを強める上で大切なことだと思います。

子どもと会えないさみしさ

12月19日（火） 3:00pm～5:00

ライポくん安心メールで不審者情報があった磯部地区から巡回をはじめ、戸倉東公園へ向かいました。東公園にはタバコの吸殻がいつものようにありました。きれいな公園なのに残念です。小船山公園はゴミもなく良い状況でした。五加児童館に回りました。学校はインフルエンザの流行があり、低学年には学級閉鎖もあるようです。この日は巡回時間に子ども達に会えず、寂しい気持ちになりました。いつもの元気な子ども達との会話が、巡回のやりがいや張り合いになっているようです。

それぞれの遊びを元気いっぱい

12月20日(水) 3:00pm~5:00

五加児童館に向かいました。建物の中から男の子が飛び出してきました。2人3人と「こんにちは」と挨拶しました。室内では本を読み合う子、ブロックで遊ぶ男の子、積み木で遊ぶ女の子、なわ跳びをする子と、たくさん子ども達がいまいました。外ではサッカーで走り回る子のかたわらで、砂をすくって小さなバケツに入れブラシで掃除をする子もいました。みんな、元気いっぱいでした。

寒い時季でも元気よく

12月20日(水) 3:00pm~5:00

八幡地区・稲荷山地区の通学路を重点的に巡回しました。ランドセルを背負った子ども達の下校姿を数組見かけましたが、特に異常はありませんでした。稲荷山公園に回ってみました。陽が入ってしまうととたんに寒くなる時季になったせいか、子ども達の姿はありませんでした。更埴中央公園では、埴生中学校の男子生徒が4人「今日は部活が休みなので」と、サッカーの練習をしていました。少し離れた場所では、男子小学生5人がサッカーの練習をしていました。寒い中、元気にボールをけていましたが、話しかけると元気よく応じてくれました。

挨拶が返って来る気持ちよさ

12月21日(木) 3:00pm~5:00

今日は、12月15日の午後9時頃に発生した磯部地籍での不審者情報をもとに、昼間でしたが巡回パトロールに出向きました。特に異常は見られませんでした。その付近は家並みが少し途絶えた場所で、これからも注意が必要と思われました。その後、更級方面へ回り、更級児童館に寄らせていただきました。子ども達が20~30名いました。児童館の中の掃除が終わり、みんなでおやつを食べていました。ちょうど良い機会でしたので、不審者情報の話をしました。みんな関心があり、よく聞いていました。

周囲を明るくしてくれる子ども達

12月21日(木) 3:00pm~5:00

ライポくん安心メールで不審者情報があった地区を、青パトで特別に巡回しました。公園にいた子ども達も学校側から事件のことは聞いており、暗くならないうちに帰宅するように言うと、「ハイ」と元気な声が返ってきて気持ちが良かったです。屋代駅や屋代高校前駅では、トイレも清掃されていてきれいでした。高校生も、声かけには気持ち良く応じてくれました。

編集室の窓

何としてもここで

児童センターに来ていたAさんは運動系には興味を示さず、来る日も来る日もレゴ。レゴさえあれば何時間でも遊べる子でした。そんなAさんですが、ときどき一輪車を持って外に出てきていました。ただ、乗れないとすぐ興味が他に移り…、気がつけば3年生の冬になっていました。Aさんは3年生まででしたので、センターでの生活もあとわずか、そんな時期になっていました。時々ではあっても、寒い外へ一輪車を持って出てくるAさんを見ていると、何とか乗れるようにしてあげたくなるのでした。

念ずれば花開く…。ある日の体育館。ペダルを2回転までは乗っていられるようになっていたAさん、なぜか気がつけばマンツーマン。今日こそ何とか乗れそうだと感じたので、落ちて落ちて止める気配がありません。今日がチャンス。…5m乗れた！…また乗れた！一気に乗れるようになっていきました。

その日、特に素晴らしい指導をしたわけではありません。Aさんの「今日なら」の気持ちと、何としてもセンターにいるうちに乗せてあげたい、「ここで何とか」の思いがピッタリ合いました。

2月末に「1人1技の発表会」がありました。最終発表の「一輪車」の仲間に、Aさんはいました。最後の最後で一輪車大好きになってセンターを巣立っていったAさんを、この時期になると思い出します。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているか「4年生のゆめ」を紹介します。

わたしのしょう来のゆめは、けいさつかんになることです。なぜかという、悪いことをする人をつかまえるのが、すごくカッコいいことだし、人のやくに立てる仕事だからです。とても、たいへんな仕事だけど、たくさん勉強をして運動をして、みんなの役に立てるようにがんばりたいです。でも、とてもきけんな場所に行ったりするかもしれないので、命がけでやらなきゃいけません。もし、けいさつかんになれたらがんばりたいです。

村上 二胡

わたしのしょう来のゆめは、医師です。なぜかという、わたしのおじいちゃんが病気で死んでしまって、わたしは助けたかったのに助けられなかったからです。おじいちゃんは死んでしまったけど、おじいちゃんみたいに苦しんでいる人がいたら、早くちりょうをしてけんこうな生活をしてほしいからです。そのためには、たくさん勉強をして医師になって、病気になった人や、けがをした人の役に立ちたいです。

平林 姫花

ぼくのしょう来のゆめは、サッカー選手になることです。なぜかという日本のサッカー選手の人たちは、ゴールをいっぱいきめて、ドリブルがとてもじょうずだからです。ぼくも、日本のサッカー選手の人たちみたいにうまくなりたいです。そのためにどりょくしたいです。

唐澤 璃空

わたしのしょう来の夢は、美ようしになることです。なぜかという、かみの毛が長くなった人をきれいにさっぱりと切ってあげて笑顔にしたいからです。「このかみ型には〇〇の服が似合いそうですね。」とか「これからも元気にがんばってください。」などと声をかけて、元気になってもらいたいとも思います。この夢に向かって、がんばりたいです。

小山 優芽

ぼくのしょう来の夢は、医者になることです。どうしてかという、今もこの世界に、病気で苦しんでいる人がたくさんいるからです。むずかしそうな仕事だけど、いろんなことを勉強して、かん者さんを助けたいと思います。そのために、人の話をよく聞き、話の内ようをしっかりと理解できるようにしていきたいです。自分から進んで勉強したり、本を読んだりして、自分の夢に向かって歩んでいきたいです。

篠田 陽彦

ぼくのしょう来の夢は、料理人になることです。世界中の人に、とってもおいしいぼくの料理を食べてもらえるようにしたいです。料理を作ることはむずかしいけど、上手になりたいです。一流の料理人になるために、まずはおうちでご飯の用意などでお手伝いを毎日していきたいです。

中島 輝也